「患者影響レベルとインシデントの要因分析」について

○ 研究の意義・目的
病院におけるインシデントは、日常業務に潜む危険情報を収集することにより内在す
る問題を顕在化させ、分析、検討、改善することにより医療事故の未然防止、業務改善
を図ることを目的に収集されています。本研究はインシデントレポートを抽出し、患者
影響レベルの観点からインシデントの背景要因を整理することにより、改善策を検討す
ることを目的とし、広島大学理事より実施の許可を受けています。この研究により、分
析結果に基づく、システムの見直し、業務改善、職員教育ができると考えています。

○ 研究対象者
2013 年 4 月 1 日から 2030 年 12 月 31 日までに、広島大学病院に入院あるい
は外来通院した患者さんで、インシデントが報告された、または患者さんに被害が発
生しなかったがエラーがみられた出来事の対象患者さんとします。

○ 研究方法
本研究は、医療安全管理部の医療の質・安全管理システムからインシデントレポート
を抽出し、内容（患者影響レベル、発生日時、発生場所、発見者、原因、事実内容、転
帰、改善策）について転記して行います（個人が特定出来る情報は転記しません）。ま
た、患者さんにご負担は生じません。

○ 研究期間 倫理委員会承認後～2031 年 3 月 31 日

○ 個人情報の保護について
情報は匿名化して、外部接続のないパソコンでパスワードを付して保管・解析し、研
究に使用したデータは研究終了 5 年後に完全に削除します。情報の管理責任者は広島
大学病院 感染症科助教 大森 慶太郎です。

〇この研究に関して利益相反はありません。
○試料・情報の管理責任者 広島大学病院医療安全管理部 教授 伊藤英樹

〇 情報公開について
広島大学病院医療安全管理部ホームページにて研究の情報を公開しています。ご希望
があれば研究計画書等の資料を公開いたしますので、下記連絡先にお問い合わせくださ
い。
 ＊研究に資料を提供したくない場合は 2031 年 3 月 31 日までにお申し出くださ
い。インシデント報告されて半年以上たったもので解析に使用したものは削除できませ
ん。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。
不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。
･･･
お問い合わせ先
〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel：082-257-5555（代表）
広島大学病院医療安全管理部 教授 伊藤英樹（研究責任者）（担当者）